

2026年第4回新潟競馬特別レース名解説

<第1日>

○岩船特別

岩船（いわふね）は、新潟県北部の郡。その地名は日本書紀にも記されており、7世紀頃の大和政権はこの地に「磐舟柵」を設置し、蝦夷対策の前線拠点とした。また、魚沼、佐渡と並びコシヒカリの産地としても知られる。

○妙高特別

妙高（みょうこう）は、新潟県南西部の市。日本有数の豪雪地帯として知られる。また、同市には、標高2,454mの成層火山である妙高山が所在する。越後富士とも呼ばれ、妙高戸隠連山国立公園に含まれる。東麓に広がる妙高高原には、温泉やスキー場などが点在し、リゾート地として賑わう。

○北陸ステークス

北陸（ほくりく）は、本州中央部の日本海側の地域。名は、五畿七道のひとつである北陸道に由来する。

<第2日>

○松浜特別

松浜（まつはま）は、新潟競馬場に近い阿賀野川河口に位置する漁港の町。淡水と海水が混じり合う沖合には、貝類が多く生息している。

○飛翼特別

飛翼（ひよく）は、互いの翼を並べて天高く舞う鳥の様子のこと。本競走は、直線1000mのコースでスピードを競い合い、互いに鼻を並べてゴールインする競走馬をイメージして名付けられた。

○新潟牝馬ステークス（L）

本競走は、牝馬の出走機会を広げ、秋季牝馬路線の充実を図るという観点から2020年に創設されたオープン競走。

＜第3日＞

○稲光特別

稲光（いなびかり）は、稲妻のこと。古来より、電光が稲を実らせると考えられていたことから、「稲」という言葉が使われているという説がある。本競走は、直線1000mのコースを稲光のように一瞬で駆け抜ける競走馬をイメージして名付けられた。

○菅名岳特別

菅名岳（すがなだけ）は、新潟県五泉市の東端にある標高909mの山。中腹にはブナの原生林やカツラの巨木が植生しており、手付かずの自然を見ることができる。山の斜面に開いた穴から湧き出る「どっばら清水」が有名。また、山麓には国の天然記念物「小山田彼岸桜樹林」があり、春の見頃には多くの登山客で賑わう。

○魚沼ステーキス

魚沼（うおぬま）は、新潟県南東部の市。コシヒカリの産地としても有名。西を魚沼丘陵、東を越後山脈に挟まれた魚沼盆地の北方に位置する同市は、「特別豪雪地帯」に指定されるほどの積雪量を誇る。

＜第4日＞

○柏崎特別

柏崎（かしわざき）は、新潟県のほぼ中央に位置する日本海に面した市。古来より北国往来の要衝で、人々の往来や文化の伝播、物資の移動が活発に行われてきた。海水浴場が点在しており、夏には多くの人々で賑わう。

○村上特別

村上（むらかみ）は、新潟県北部の日本海に面した市で、その面積は県内最大を誇る。市街地を流れる三面川の鮭や村上牛が有名。かつては、村上藩の城下町として栄え、現在も市中にその面影が残っている。また、日本海沿岸には瀬波温泉や「笹川流れ」があり、観光都市としても知られている。

○ルミエールオータムダッシュ（L）

ルミエール（Lumiere）は、フランス語で「光」という意味を持つ言葉。本競走は、直線1000mのコースを光の如く駆け抜ける競走馬をイメージして名付けられた。